

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
				実績	実績	実績	実績	今後の事業展開 等
1 放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることを目的として、平日の放課後、3会場(ふれあいホーム・尾崎公民館・西鳥取公民館)において実施する。	<平成26年> ・東鳥取会場(毎月月曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・尾崎会場(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・3会場全体交流会年4回実施(長期休業中)	・ふれあいホーム(毎週月曜日15時～17時と月1回土曜日)年54回実施 ・西鳥取会場(毎週水曜日15時～17時)年41回実施 ・東鳥取会場(毎週金曜日15時～17時)年47回実施 ・朝日小学校、尾崎小学校、地域交流館、サラダホール(土・日曜日・長期休暇など:原則10～12時)年16回実施(暫定)	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時(夏季休業中は午後1時～5時) 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休業中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時(不定期) ふれあいホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館 尾崎小学校・朝日小学校・東鳥取小学校・下荘小学校・桃の木台小学校 サラダホール・貝掛中学校・地域交流館	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時(夏季休暇は午後1時～5時) 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休業中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時(不定期) ふれあいホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館・市内小学校体育館 年間1,400～1,500人が参加	・利用している子どもたちの声から、居場所をどうすれば居心地のよい場所になるのか一緒に考え、ニーズに合った居場所づくりへとつなげていき、安心、安全な居場所となるようにさらに充実を図る。そのために、阪南市の子どもの現状を把握し、子どもたちからの声を行政に届けられる橋渡し役となり、行政、学校、地域と連携し居場所への理解と協力を求め、阪南市の子どもたちの健やかな成長へとつなげていく。 ・多くの人に子どもの居場所「キッズはらっぱ」の存在となぜ居場所が必要なのか理解を求め、子どもに適した安心安全なあそび場、人材確保について引き続きアピールしていく。 ・土曜日午前の小学校開設を継続していくためにも、学区の地域の方、保護者、学校(先生方)にも理解と協力を求める。  ⇒継続
2 阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。	<平成26年> 【支援回数】 貝掛中学校 3回(7月) 鳥取東中学校 2回(6月、7月) 飯の峯中学校 2回(6月、7月) 【合同演奏会】 平成26年12月21日(日)桃の木台自治会主催「光のページェント祭 クリスマスコンサート」(飯の峯中学校吹奏楽部)	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。 【技術支援】9回 ○貝掛中学校 4月27日・7月3日・25日 ○飯の峰中学校 7月18日・12月9日 ○鳥取中学校 5月10・1月21日・3月4日 ○鳥取東中学校 6月6・7月2日・21日・2月25日 ○せんなん里海さくらフェス 3月19日イベント開催に伴い、市内中学校校舎内で合同演奏を実施した。 ○その他 コロナ感染拡大防止に伴い、日本吹奏楽指導者協会公認指導者代表が訪問指導を実施 等	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。 【技術支援】15回 飯の峯中学校 6回 4月17日・5月11・16日・6月5日・12日・7月5日 ○鳥取中学校 1回 7月14日 ○貝掛中学校 3回 7月23日・12月8日・10日 ○飯の峯中学校 1回 1月26日 ○鳥取東中学校 4回 5月20日・6月15日・7月8日・3月9日 【その他】 ・吹奏楽コンクール南地区大会 金賞受賞 鳥取東・貝掛中学校	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。  【技術支援】10回 ○鳥取中学校 4回 ○貝掛中学校 3回 ○鳥取東中学校 3回  7月をレッスンの集中期間にしたので、7月末に開催された大阪府吹奏楽南地区大会では、貝掛中学校と鳥取東中学校がそれぞれ金賞、鳥取中学校が銀賞を受賞されました。	本事業は、子どもたちにとって、専門家の生の演奏や音色を間近で聴き、専門的な奏法を直接学べるという、非常に貴重な機会であり、教育効果も高い活動であると考えている。 また、阪南吹奏楽団の方々への演奏に向けた姿勢に接することにより、音楽を通じた世代間交流や文化活動に対する知識を育むよい機会にもなる。  ⇒継続
3 男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	道路公園課	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力し、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、「環境・美化啓発ポスター募集」、「男里川(山中川・うど川)水系の清掃活動」などを実施する。	<平成26年> 8月中旬頃 観察会等に関する活動について 8月下旬頃 水辺の学校活動について 9月～12月 環境・美化啓発ポスター募集について 2月21日 男里川(山中川・うど川)水系の一斉清掃活動について	7月～ 環境啓発ポスター募集・カレンダー作成(夏休み終了まで)(約200名) 8月上旬 夏休みの親子の水生生物観察会(32名) 9月下旬 男里川水辺の学校(34名) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(68人)	○夏休み親子水生生物観察会 日 時 令和5年7月15日(土) 参加者 市民47名 ○男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 期 間 夏休み 参加者 200名 ○男里川水系、水辺の学校 日 時 令和5年9月22日(金) 参加者 尾崎小学校4年生 38名 ○男里川水系一斉清掃 日 時 令和6年2月17日(土) 参加者 市民等77名	○夏休み親子水生生物観察会 日 時 令和6年7月15日(土) 参加者 市民47名 ○男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 期 間 夏休み 参加者 200名 ○男里川水系、水辺の学校 日 時 令和6年9月22日(金) 参加者 尾崎小学校4年生 38名 ○男里川水系一斉清掃 日 時 令和7年2月15日(土) 参加者 市民等約80名	●男里川清掃活動 参加者を増やすためにどうすればいいか、役員で考える。広報紙や回覧板でのPRだけでなく、個人的なつながりや、他の市民活動とのつながりなどを通じ参加者を増やす。 ●啓発ポスター より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える。Instagramに投稿したが、それをみんなに見てもらう方法を考える。ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので別の方法を考える。 ●水辺の学校 尾崎小学校の4年生を対象とし、小学生に環境の大切さを伝える。 ●親子観察会 親子の参加を増やし、及び熱中症対策のため、夏休みの始めに7月に実施  ⇒継続
4 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル(円卓会議)事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。	<平成27年> ・学期ごとにラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) 平成27年7月1日 平成27年12月16日 平成28年1月28日 上記の他、毎月、提案団体と各担当課で情報共有	・ラウンドテーブル「NPOと各課(室)の取組などの共有」を開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課計13人)  コロナ禍で時間を短縮し、1回だけの開催となったが、団体と担当課の間でそれぞれの取り組みを共有し、阪南市の子どもの現状について情報交換した。	ラウンドテーブルの開催 日 時 ①令和5年9月6日 ②令和5年12月18日 対 象 NPOはらっぱ、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課 参加者 13名 内 容 NPOと各課(室)の取組などの共有	ラウンドテーブルの開催 日 時 令和6年9月4日 対 象 NPOはらっぱ、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課 参加者 13名 内 容 NPOと各課(室)の取組などの共有	阪南市の子どもの現状を子どもに係る課と情報共有する意義ある機会となっている。今後も有効な情報交換の場となるよう実施方法を工夫し、課題解決に向けて市民協働で連携できる事業などについても検討していきたい。  ⇒継続

	事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
					実績	実績	実績	実績	今後の事業展開 等
5	野外活動広場(桜の園)管理運営事業	ボランティア桜の園の会	生涯学習推進室	桜の園の運営及び維持管理を行う。 公の公園施設として、色んな目的で来られた市民が堪能して安全に帰って頂けるよう、毎日の見回りや道路・設備の点検・早めの対応をしていく。山・池・川・樹木・鳥・植物等豊かな自然を活用し「また来たい」と抱くような雰囲気を出していく。	<令和5年度> 桜の園の施設運営・管理等を行う。 トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等 見回りによる利用者確認 テント数293件、利用者808名 一斉草刈り 年4回 消毒 年3回 道路の掃除と整備 ミニフェスタ 2回 塩づくり体験 ※ハイキングは雨天のため2回とも中止		同左	桜の園の施設運営・管理等を行う。 (トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等) 例年行っている大福山ハイキングに加え、新たに一人参加の「ぼっちキャンプ」を広報で募集し、実施しました。参加人数は10名弱と多くはありませんが、このような呼びかけをきっかけに初めて宿泊キャンプに参加し、ライフスタイルが広がったという方もいらっしゃいました。 また、令和6年の3月には市と共同で、ヤマザクラを5本植樹。 [令和6年度利用件数] テント数211件、利用者917名	桜の園への道については、気が付き次第補修を行っています。が、手作業での対応のため効率が悪く、その都度市に情報を提供し共有することで、かろうじて維持できている状況です。しかし、よく見ると、インスタントアスファルトなどで穴を補修すれば、人が歩きやすく、車も走りやすい道路になり、事故を防ぐことができる箇所がいくつかあります。材料の提供も含め、市と情報の共有度を高めていきたいと考えています。  ⇒継続
6	はんなん海の学校事業	特定非営利活動法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター	中央公民館	市と連携して「はんなん海の学校」を創設し、学びの機会を学齢期の学校教育の場だけでなく、社会教育として若年層の市民を中心にさらに広範な人の手で取り組んでいくことで、多くの市民の郷土愛を育むとともに、自ら主体的に地域課題に関わる人材の育成を図ることを目的とする。	<令和6年度> 計12回の講座を開講。R6/2末時点で11回終了しており、生徒としては累計84名が参加。 1月の学習会では、1年間のまとめとして、「学んだこと」「気づいたこと」「どうしていきたいか」などを整理した。3・4月の学習会では、学んだことを広めるためにどうしていくか、自分たちが海に何ができるかなど、子どもたちから大人への提言としてまとめの作業を予定している。(大阪関西万博で報告) *活動内容満足度 80%(5点 5段階評価)20%(4点、5段階評価)			同左	本事業は、小学校で海洋教育を学んだ中・高校生が輝き続ける場として、また、若年層(社会人・大学生)の発想や企画・運営力を生かす場としての一面があります。 まずは、これらの若年市民層が学び、企画し、活動する学校としていきたいと考えています。そして、本事業が打ち上げ花火的なものではなく、3年間の取組が終了した後も、そこで育った人材がまた核となって活躍するという持続可能な取り組みとなることを想定した事業でもあります。  ⇒継続
7	コミバスで行くはんなん探訪	阪南まちおこし夢テラス	生涯学習推進室	市民が阪南市の魅力を再発見するため、身近にある自然や史跡・社寺・石仏・伝承・グルメなどに触れる機会や情報を提供することを目的とする。 具体的には、コミュニティバスを活用して少人数でも気軽にはんなん探訪ができるよう、わかりやすいパンフレット・チラシを提供する。	<令和6年度> ①打合せ 計7回 [場所]阪南市市民活動センターほか [内容]プランの企画検討 ②現地確認 計10回(年度内残り2回予定) [場所]市内各所 [内容]プランの現地確認 ③その他 会員各人が、各プランで紹介する文化遺産などの原稿作成などを行った。			同左	成果品(パンフレット)の増刷を市内企業からの広告収入で賄うなど、事業終了後も自立自走できる事業の方向性を検討し、団体の自主事業としても継続発展させたい。 住民が選んだ阪南市の魅力を、市内外に存分に発信できるパンフレットの作成を目指したい。  ⇒継続